

安全データシート

1. 製品及び会社情報

[製品の名称]	製品の名称	エステファイン JET SET-4 液 Esthefine Jet Set-4 LIQUID
[会社情報]	会社名	ペントロンジャパン株式会社
	住所	〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17-5F/6F
	電話番号	03 - 5746 - 0316
	FAX 番号	03 - 5746 - 0320

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性	可燃性固体又は液体	区分 2	
	健康有害性	急性毒性、吸入(粉塵及びミスト)	区分 4
	皮膚腐食性及び刺激性	区分 2	
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2	
	皮膚感作性	区分 1	
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3	
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2	
環境有害性	分類対象外または分類できない		

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

予防

皮膚の炎症を引き起こします
 重度の眼刺激を引き起こします
 アレルギー性皮膚反応を起こす可能性があります
 呼吸器への刺激を引き起こす可能性があります
 眠気やめまいを引き起こす可能性があります
 長期間又は繰り返しばく露は臓器に損傷を与える可能性があります
 引火性の高い液体および上記。

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・適切な保護手袋と保護服、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・汚染された衣類は職場から持ち出さないこと。
- ・粉塵、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸い込まないこと
- ・熱、火花、裸火、高温もののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。

【応急措置】

- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。
 - ・ばく露した場合、医師に連絡すること。
 - ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 - ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
 - ・皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
 - ・皮膚の炎症や発疹が生じた場合は、医師の診察を受けてください。
 - ・気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
- 汚染された衣類をすべて脱ぐこと。汚染された衣類は再使用する前に選択すること。

【保管】

- 施錠して保管すること。
- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 容器をしっかりと閉めること。

【廃棄】

- 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【補足】

- 皮膚や衣服との接触を避けること。取扱い後は徹底的に洗うこと。

【他の分類されない危険性】

- 飲み込むと有害な可能性があります。
- 皮膚に接触すると有害な可能性があります。

【その他の情報】

- ・長期にわたる影響で水生生物に有害
- ・水生生物に有害

3. 成分の組成情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量：

成分名	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.
メタクリル酸メチル	80-62-6	(2)-1036	-
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	2-1044	-
N,N-ジメチル-p-トルイジン	99-97-8	3-191	-
その他	非公開	-	-

- ・化審法： 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号
- ・安衛法： 労働安全衛生法(安衛法) 名称等を通知すべき有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2）

4. 応急措置

- 吸入した場合
 - 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 - 直ちに医師に連絡すること。
- 眼に入った場合
 - 直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して少なくとも 15 分間洗浄を続けること。直ちに眼科医の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合
 - 無理に吐かせないこと。すぐに大量の水または牛乳を飲ませること。意識のない人には、決して口から与えないこと。
 - 飲み込んだ時間と量の推定値を医師等に伝えること。

直ちに医師の診断を受けること。
多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣服は脱ぐこと。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

5. 火災時の措置

消火剤 適したもの：化学泡、二酸化炭素 (CO₂)、ドライケミカル
不向き：水スプレー

消火を行う者の保護 他の火災の場合と同様に圧力要求型の時給式呼吸装置、MAHA/NIOSH (承認済みまたは同等のもの) および完全な保護具を着用する。
安全な場所から消火する。

化学物質から生じる特定の危険性 1L 以上の場合、高温、抑制剤の枯渇、偶発的な不純物、または放射線や酸化剤への曝露により、熱/圧力が発生する自発的な重合反応が発生する可能性がある。
密閉容器は暴走重合中に破裂または爆発する可能性がある。水スプレーや霧を使用して、蒸気を減らすか方向付けする。
非常に引火しやすい。
蒸気は空気より重いため、床に沿って広がる可能性がある。
蒸気が発火源に到達し、逆火する可能性がある。
熱や不純物により密閉容器に圧力がかかたり破裂したり、火災が広がったり、火傷や怪我の危険性が高まったりする可能性がある。

危険な燃焼生成物：炭素酸化物
機械的衝撃に対する感度：いいえ
静電気放電に対する感度：はい

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 すべての発火源を排除すること (周囲での喫煙、発煙筒、火花、または炎の発生禁止)。関係者以外の立ち入りを禁止する。
適切な個人用保護具を着用すること。
十分な換気を確保すること。
汚染された衣類は脱いで、再使用する前によく洗うこと。

環境に対する注意事項 河川、水路や下水に流れ込ませないように注意すること。
水路への流出または制限されない排出は、適切な規制機関に通報する必要がある。

除去方法 土、砂、その他の不燃物に吸収し、密閉できる空容器に回収すること。
おがくず等の可燃性物質は、使用しないこと。

追加情報 清掃する時は、火花が出ない工具のみを使用してください。
患部をすべて多量の温水と石鹼で洗います。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い注意 ラベルに記載されてある注意事項に従うこと。使用しないときは容器を閉めたままにすること。
火花防止工具および防爆装置を使用すること。
皮膚、目、衣服との接触を避けること。
換気の良い場所で使用すること。
蒸気は空気より重いため、床や容器の底に沿って移動する。
静電気放電に対する予防措置を講じること。
熱、火花、裸火、および高温から遠ざけること。禁煙。

保管注意

個人用保護具を使用、使用後はよく洗うこと。
 汚染された作業服は職場の外に持ち出さないこと。
 容器をしっかり閉めて、乾燥した涼しく換気の良い場所で保管すること。
 熱、火花、炎、その他の発火源（パイロットライト、電気モーター、静電気など）から遠ざけること。
 吸水や汚染を防ぐため容器をしっかり閉めて、乾燥した涼しく換気の良い 25℃を超えない温度で保管し、直射日光を避けること。
 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

局所排気装置、手洗い・洗顔設備、安全シャワー、洗眼器等
 呼吸用保護具 粉塵が発生する場合は、防塵マスクを着用する。

保護具

手の保護具 保護手袋
 眼の保護具 保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

外観	形状	液体
	色	透明
	臭い	刺激性
物理的状態の変化に関する情報		
融点/融解範囲		なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		101℃
引火点		11.5℃
自然発火温度		421℃
密度		0.967g/mL
蒸気圧		28mmHg
粘度		なし
pH 値		なし
水溶性		1.6wt%
有機溶媒		なし
水		なし

10. 安定性及び反応性

安定性 通常条件では安定。
 危険な分解性生物 炭素酸化物

11. 有害性情報

発がん性 発癌性あるいは発癌の可能性のある物質としてはリストされていない。
 許容濃度 設定されていない。

12. 環境影響情報

長期にわたる影響で水生生物に有害

分解性： 分解されにくい
 蓄積性： データなし
 魚毒性： データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄の方法 診療使用前は、通常の産業廃棄物と同様に取り扱う。
 その他関係法令の定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報

海上規制情報

消防法の規定に従う。

船舶安全法の規定に従う。

国連番号：1993

品名：可燃性液体(他の危険性を有しないもの)

クラス：3

容器等級：II

海洋汚染物質：非該当

航空規制情報

航空法の規定に従う。

国連番号：1993

品名：可燃性液体(他の危険性を有しないもの)

クラス：3

容器等級：II

国際規則

海上規制情報

IMDG(国際海上危険物規則)の規定に従う。

UN No.: 1993

Proper Shipping Name: FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (Methyl methacrylate, monomer, stabilized/N,N-Dimethyl-p-Toluidine solution)

Class: 3

Packing Group: II

航空規制情報

IATA(国際航空輸送協会)の規定に従う。

UN No.: 1993

Proper Shipping Name: FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (Methyl methacrylate, monomer, stabilized/N,N-Dimethyl-p-Toluidine solution)

Class: 3

Packing Group: II

特別の安全対策

危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。

危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。

危険物の運搬中危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。

15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物

消防法

毒劇物取締法

PRTR法

船舶安全法

引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)

航空法

引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。

注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

以上は情報提供であり、個々の用途に対する本品及び本記載内容の適合性を保証するものではありません。

改訂履歴

00 2016年7月25日 初版
01 2023年12月25日 第2版

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM
GHS 分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHS モデル MSDS 情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP
JCIA BIGDr (一社) 日本化学工業協会「化学物質リスク評価支援ポータルサイト」
HP
職場のあんぜんサイト>安衛法名称公表化学物質等 厚生労働省 HP
NITE 化学物質総合情報提供システム nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHS 分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHS 混合物分類判定システム 経済産業省